

様式 2

令和元 年度 学術振興基金助成による成果報告書

令和元 年 11 月 12 日

学 長 殿

所属部局・職名 共生システム理工学類・准教授

申 請 者 名 後藤 忍

助成事業の区分	いずれかにチェックしてください 研究協力に関する事業 (<input checked="" type="checkbox"/> 学会参加) 学術振興に関する事業 (<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 事務職員)
事業名	第 10 回世界環境教育会議 (10th World Environmental Education Congress : WEEC 2019) への参加
事業実施期間	令和元年 11 月 ~ 令和元年 11 月
成果の概要	<p>2019 年 11 月 3 日~7 日にタイ・バンコクの BITEC (Bangkok International Trade & Exhibition Centre) を主会場として開催された第 10 回世界環境教育会議 (10th World Environmental Education Congress : WEEC 2019) に参加した。</p> <p>2011 年の福島第一原発事故の後に発行された文部科学省の放射線副読本の内容分析についてポスター発表した (タイトル: Content Analysis of Educational Materials on Radiation Issued by the Japanese Government after the Fukushima Nuclear Accident)。また, 「アジアにおける環境教育に関する国際共同研究の促進」をテーマとしたラウンドテーブルなどに参加した。</p> <p>アジアの国で世界環境教育会議が開催されるのは初めてである。アジアの国々を中心に世界中の環境教育関係者が集まり, 環境教育や原子力・放射線教育の実践内容, および今後の課題について, 有益な議論をすることができた。</p>